

三雲南・北幼児園の認定こども園化の地域との意見交換会（要旨）

対 象：地域住民等

日 時：令和３年１０月１８日（月）

午後７時～

場 所：ハートフルみくもスポーツ文化センター

参加者：１１人

問：認定こども園の管轄が内閣府となっているが、何か変わることがあるのか？

答：資料 12P 何かが変わるということではない。

問：認定こども園になると PTA はないと聞いている。これから話し合いをしていくのか？

答：保育園は保護者会、幼稚園は PTA であるが、現在検討中。

問：形として PTA がなくなることは想定しているが、何らかの形でつながっていけるような体制を考えてもらえると、保護者の安心にもつながる。松阪ではコミュニティースクールの取り組みがあり、鎌中校区は幼小中でしている。三雲中校区も小中で立ち上がっている。認定こども園も今後対象となることを視野に入れて検討をしてほしい。

答：保幼小中の連携について、７月に三雲地区へ説明を行った際、理解をしていただいた。一緒に取り組んでいけると考えている。

問：自分は、幼稚園の保護者であり、幼児教育があったからこそと振り返る。保育時間外でも親にとっては学びの場、自己研鑽できる機会であった。個別最適化学習、多様性を認める時代等と言われる中、幼稚園で先生は子どもの様々な遊びに寄り添い、保育に携わっている。そういったことがこども園ではどこまでできるのか。現場の先生がより大変になってくるので、スムーズな移行ができるよう、手厚い配置をお願いしたい。８月の北幼児園の説明会にも参加した。今回の資料の 8P、こども園の１日のイメージ図に気になるところがある。１４時に１号の子は帰るが、預かりは１号の子のみなので、両方にかかってくるのはおかしい。同じ部屋で過ごすということか？

答：今のところ、同じ部屋で生活するイメージ。これから津市の視察も予定している。保育の方法は細かく考えていく。他市町を参考にはするが、すべて真似るわけではない。

問：3歳児1号は、昼寝がない。13時に帰りの会をして、14時に1号は帰る。2号は別室へ昼寝に行く。1号の預かりと2号が同じ部屋で過ごすのはおかしい。一緒に過ごすのであれば、預かりについている補助の先生はいなくなるのか？おやつはどうなるのか。おやつ代はどう計算するのか。

答：おやつは、同じものを食べると考えている。おやつ代は調整していく。

問：定数が、3歳児61人となっているのはなぜか。3歳児が園児20対保育者1と考えると3クラスで60ではないか。

答：現在の園児数や定員数から勘案したものであるが、あくまでも目安としての数値である。

問：こども園になっても、土曜保育は半日なのか。働く親にとっては、半日では仕事が出来ない。保育園は昼寝がなくなると、書く時間がないということで連絡帳がなくなる。幼稚園はずっとある。幼稚園の先生も、掃除や翌日の準備を終えて書いてもらっている。その日に返ってこなくてもいいので、書いてほしい。親の意見をくみ取ってほしい。持ち物について、親の意見を聞いてもらえる場はあるのか。多数決になると、幼稚園は人数が少ないので勝てない。(案)はいつとれるのか。保護者に向けてきちんと説明できるのはいつになるのか見通しを教えてほしい。

答：本日の会に4園園長も同席している。具体的に示せるものが今はないが、視察もして保護者へ報告していくようにする。

問：保育士への負担について対応はできているか。

答：こども園には、幼稚園教諭免許と保育士資格の両方を持った者を配置していくようにする。手厚い配置が出来るよう、保育者を探すことにも力を入れる。

問：これまでに、保護者からアンケート等をとって、意見を吸い上げてきたか？

答：8月に北と南で計4回説明会を行った。参加者は30人以下。アンケートも配布したが、コロナの自粛期間もあり、幼稚園に関しては、回収が今月になった。結果は、ほぼ納得が多数である。

意見：幼稚園を卒園した息子（現在高校生）が、幼稚園がなくなるの？と聞いてきた。幼稚園へ職場体験にも行き、恩返しがしたいと言っていた。そのような子どもたちから見ても、こども園になってよかったと胸を張れるようなものを作ってほしい。